

令和9年度当初予算編成方針

1 予算要求における重要項目

- 全世代が幸福を実感し活躍できる「選ばれるふくい」の実現
〔子育て・教育環境の充実、高齢者の安心と活躍推進、若者躍動、関係人口の拡大 など〕
- 未来を切り拓く経済・産業政策の推進
〔産業クラスターの形成、AX（AIを活用した経営改革）の推進、
地場産業（伝統工芸、農林水産、観光等）の成長 など〕
- 世界との交流拡大と需要獲得
〔インバウンドの推進、県産品の輸出拡大、企業の海外展開支援、国内外への情報発信 など〕
- 人口減少を見据えた持続可能な社会の構築
〔地域産業を支える人材の育成、安全安心な地域づくり（防災、交通、医療・福祉等）、
AX・DXによる行政サービスの効率化 など〕

2 予算要求における考え方

- 「世界があこがれる福井」の実現に向け、政策の強化軸「3つのS」を意識するとともに、「全世代リスペクト」「徹底した県民目線」「発信改革」の視点を踏まえて要求
- 行財政改革アクションプラン2024を踏まえ、歳入の確保と歳出の合理化を促進
- 質の高い行政サービスを提供するため、全庁的に事業・業務見直しを実施（業務改革）
- 「情報発信」については、対象者や発信手法の妥当性を十分検討し、効果測定の手法および成果目標を設定した上で要求

3 要求基準の設定

- (1) 経常的経費 102%以内
〔・「公共施設等総合管理計画」に基づく県有施設の長寿命化は、要求基準外で要求可〕
- (2) 政策的経費 97%以内
〔・新たに「若者活躍・県内定着枠」および「高齢者安心・活躍応援枠」を新設し、
要求基準外で要求可〕
- (3) 投資的経費 国の予算や地方財政計画等を踏まえ予算編成過程で決定

※地方公共団体の発注における適切な価格転嫁（人件費等の実勢価格の反映など）に向け、
経常的経費や政策的経費のシーリング率の増加（昨年度に引き続き+2%）

※国の補正予算に依存した財政運営からの脱却の方針を踏まえ、これまで補正予算で
対応してきた事業については、国の予算編成や地方財政計画等を踏まえ、予算編成
過程において当初予算への計上を検討